



【校訓】 立志 ・ 協働 ・ 生命

南 風 ~ MINAMI KAZE ~

高知市立南海中学校 学校便り No. 39

令和4年12月19日(月) 通算 2135号

高知市長浜 5235 Tel.088-842-3291

2学期の学習の頑張りを振り返る

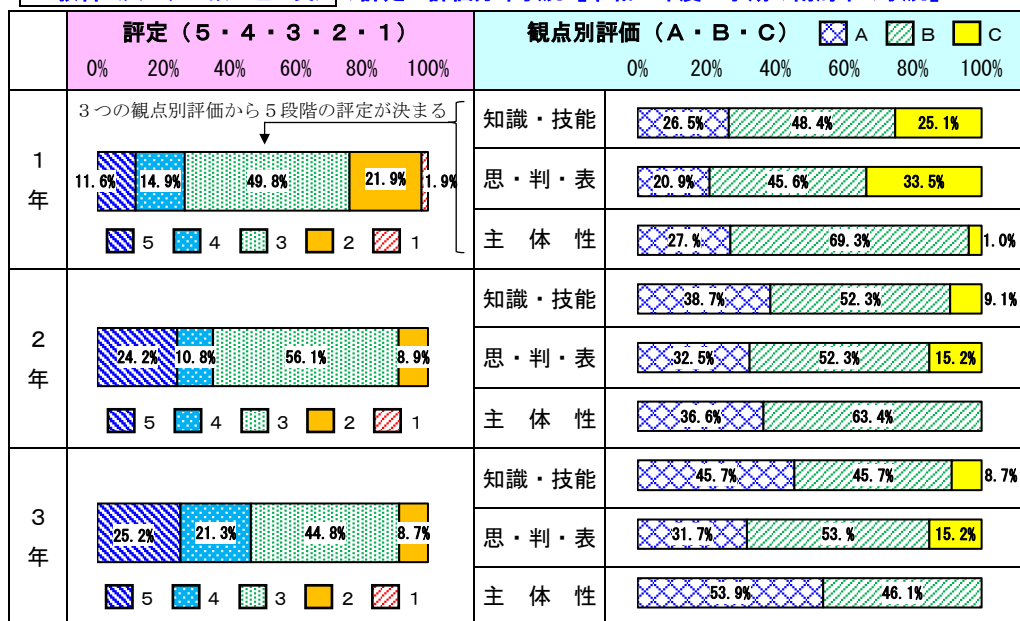
A評価が3つそろえば評定5

どのように学習成績が決められているのか、生徒・保護者とも関心があると思います。令和3年度から、全国の中学校で新しい観点で学習の評価が行われています。保護者の方が小・中学生だったころとは評価の考えが大きく変化しています。これは、これからの社会・時代を生き抜く子どもたちに求められる力が時代とともに変化していることを表しています。

今回の2学期の評価・評定の分布状況を下の2つの表にまとめています。例えばクラスの中で**評定5**が○人、**A評価**は○人までと決まっているわけではありません。決められた基準を超えた生徒には何人でもよい評価をつけることができます。学期末の三者面談では、何をがんばればC評価でなくB評価になるのか、何に気をつけたらA評価がとれるのかを、学級担任の先生と相談し、教科担当の先生からアドバイスをもらってほしいと思います。

南海中の学習成績のつき方は5月16日付『南風』第14号に、中学校1年からの成績が高校入試などに影響することを、5月31日付『南風』第17号に詳しく説明していますので参考にしてください。

5教科(国・社・数・理・英)の評定・評価分布状況【令和4年度2学期の南海中の状況】



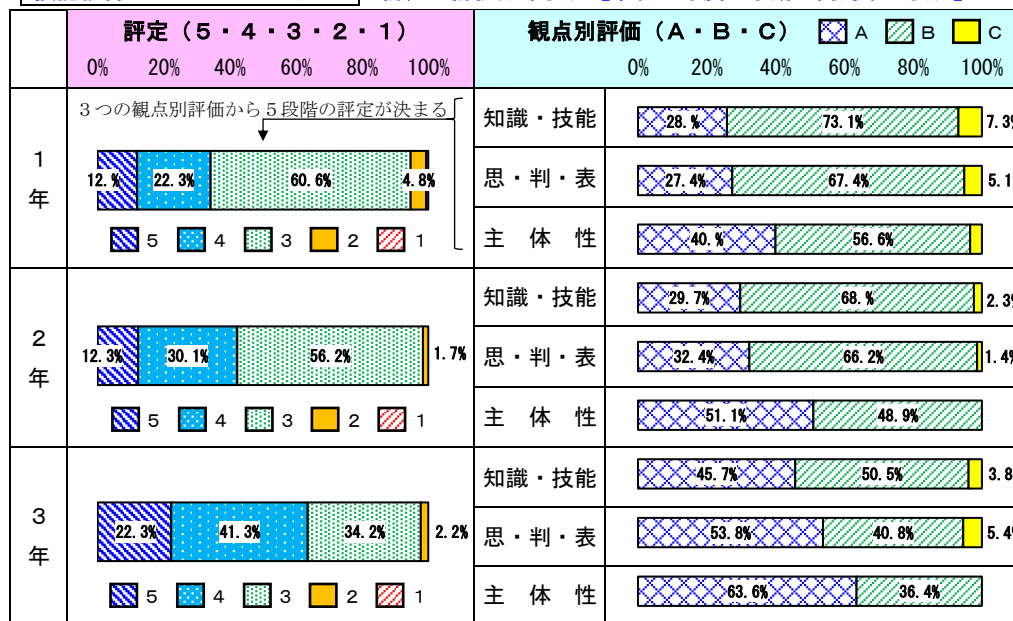
※「思・判・表」は思考・判断・表現、「主体性」は主体的に学習に取り組む態度を表します

3つの観点	どのようなことが評価されるか	どうすれば成績を上げることができるか
【知識・技能】	その教科ですでに身につけたことと関連付けて使え、他の学習や生活場面でも活用できる程度に身につけているか評価します。	授業で学習したことをしっかり復習し、他の場面や問題で使ったり、小テスト等で間違いを把握し見直したりしよう。
【思考・判断・表現】	身につけた知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかを評価します。	授業のJump課題で友達の意見を参考にしながら深く考えたり、根拠や理由を明確にして自分の考えを友達に説明しよう。
【主体的に学習に取り組む態度】	学習状況を把握し、学習の進め方を試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとする、意思的な側面を評価します。	自分ができなかったことを解決するための方法を学んだことや友達との対話を通して考え、諦めず粘り強く取り組もう。

上の表のうち、【知識・技能】や【思考・判断・表現】の一部は単元テストや小テストで測ることができますが、その他のことは普段の活動を中心に評価することになります。

南海中では、普段からペア・グループ学習を活用し、友達の意見を聞きながら自分の考えを確かなものにし、それを相手に伝えるよう説明するという授業を行っています。授業の中で出された課題に対して、自分ならどう考えるかを常に意識して取り組むよう頑張ってみてください。

技能教科(音・美・保体・技家)の評定・評価分布状況【令和4年度2学期の南海中の状況】



左表は5教科の合計、右表は技能4教科の合計結果を学年ごとにまとめたものです